

《手書き－1》

「地震大国日本」

田中 一 氏

皆さんこんにちは。名洋大学で地質学を専攻している田中一です。「地震大国日本」というテーマでお話しします。まず、1ページ、標題下の世界地図をご覧ください。日本から南へ下るとオーストラリア大陸にぶつかります。オーストラリア大陸を東に進むとニュージーランドがあります。この2国を比較してみたいと思います。

この2つの国は形状が似ているほかにいくつかの共通点があります。どちらも赤道を隔てて等距離にあります。また、山の数、温泉の数、地震の発生頻度が似たような傾向にある国です。そして、弓なりの形をした列島により形成され、大きさも似通っていて、列島の中心を山脈が隔てている点も共通しています。さらに列島の最高峰、日本では富士山の標高は3776メートル、ニュージーランドのマウントクックは3724メートル、標高は偶然の一致ですが、これだけ共通点があるのは何らかの必然性があると考えられます。

似通った形状、似通った特徴の理由から。2つの国の周辺位置を上の世界地図をご覧ください。日本の東には太平洋があり、西にはユーラシア大陸という巨大な大陸があります。ニュージーランドも東側に南太平洋があり、西はオーストラリア大陸が背景に存在しています。

資料2ページ。2. 地球の層構造です。ショートケーキを切ったような扇型の一部がありますが、これが地球の断面図です。真っ二つに割った状態で、下のすぼんだほうが地球の中心です。向かって右側は岩石等の物質の違いによる区分です。

地球の表層の部分は地殻といいます。カクは卵の殻という字。この地殻は海洋底で5～10キロ、大陸では25～70キロの厚みです。そう書いてないのは、地球の半径は6400キロで、100キロは64分の1なのでスケール上、表せません。非常に薄い、卵の殻のようだと思ってください。

評価点：

出だしの自己紹介は、共有情報を活用すれば十分追いつけたところですが、大きな聞き誤りはありませんでしたが、日本とニュージーランドの比較をされているところの書き方に差が出ました。対比の構造で話が展開していくのは、文章化するとき間違いを減らし、話し手の比較意図をつかむために重要です。後半の地中の断面図をもとにした説明も資料を活用すれば、十分内容は含められたと思います。地殻の厚みと大きなサイズの話がつかめた方は最後がきちんとまとめられていました。

《手書き－2》

「日本人の良心」

森元 美代治 氏

森元／ハンセンの患者組織もあり、療養所にも自治会があって、啓発活動をしている。ほとんどの人が、ハンセン病は遺伝ではない、簡単にはうつらない、理解してほしい、と訴える。マスコミが取り上げようとして、名前を出していいか聞くと、それは困る。写真はだめ。偽名もだめ、となる。主張はするが、言行不一致、自分の行動が伴わない。そのことに私は気づいた。

黒川温泉の事件が象徴的だが、世間の見方はそんなもの。だから、自分たちが変わろう、世の中を変えていこう。世の中が変わってから自分が変わるのではなく。自分が変われば、1人や10人や100人は私の運動を支えてくれる。そういう支援者、理解者もいる。活動は見捨てないので。自分が変わらなくてはだめと感じている。

障害者も部落差別の人も、在日の差別問題も、女性問題、年寄り、子どもも同じ問題がある。当事者が胸に手を当てれば答えは見つかるはず。世の中に甘えたり、政治家の責任、社会の責任、厚労省の責任、周囲の責任にしたがるのは当事者があきらめていたから。最後は仕方ないでみんな片づけてしまう。家族もそう。らい病だから仕方ないといえれば気持ちの上では楽。でもそうでない。仕方があると気付いてほしい。

らい病だからと家族がいうので、ほかの病気とどこが違うのかと私は反発する。理屈っぽいといわれ、どこまでも平行線。家族の苦しみやカミングできないなど、精神障害者の場合も同じで手に取るようにわかります。社会制度上とか法律的にもいろんな面で共通。だからわかるが、自分が変わってもらわないと。特に家族の皆さんに。家族が一番の血肉、水よりも濃い絆を断ち切ろうとしないで、積極的に生かせと思っています。お前は世の中を甘く見ているといわれるが、私は信念を持っている。

評価点：

出だして、内容が逆になった例。ハンセンの当事者が、社会に理解してほしいと啓発活動もしているのに、マスコミが取り上げようとするとな名前を出したがない、というあたり。「社会が理解してくれない、マスコミは取り上げてくれない」と書かれた方が多かったです。「言行不一致、行動が伴わない」といった単語は拾っていても、その主体がマスコミや世間の人なのは、聞き方に先入観があったかもしれません。中盤部分は、同じことの繰り返しですから、話しことばの処理をきちんとすれば内容は理解できたはず。ここはできた人とそうでない人の要約筆記に差が出ました。

《パソコンー1》

『北欧モデル』から日本は何を学ぶか

翁 百合 氏

ご紹介いただいた翁です。よろしくお願ひします。北欧モデルから日本は何を学ぶのかというお話をします。

アベノミクスとして、自民党政権に変わってから積極的に、第1の矢、金融緩和、第2の矢、財政の出動、第3の矢、成長戦略と経済政策を進めています。日本は大きな額の公的債務を考えますと財政再建をしながら経済成長を持続的に実現することが最大のテーマです。

その観点から参考になるのがご紹介する北欧モデルです。北欧は高福祉高負担のイメージ。消費税率、付加価値税率など負担はあるが、それに見合った厚い福祉があり、介護、医療、保育が充実したイメージが強いと思います。同時にご紹介したいのは、積極的に政策、イノベーションを次々に実行しているということです。

欧州問題が2010年くらいから大きな問題になっている。ギリシャ、ポルトガル、イタリア、スペインといった国の経済実態が悪く、国債の利回りが上昇するなど繰り返し起こっています。これらの国々はピーグスと頭文字をとっていうが、南欧の国です。この国々にはパフォーマンスがよくない。これに対してスウェーデン、フィンランド、ノルウェー、デンマークといった北欧の国は比較的いいパフォーマンスを続けています。生産性の伸び率が高く、財政再建もうまくいって、財政赤字の問題も深刻ではない。南欧諸国と比較したときに、北欧のパフォーマンスが注目を集めています。北欧は小さな国で、人口も少なく、スウェーデンは900万人。大きさは違いますが学ぶべき点はあると思います。

北欧モデルは大きく分けて3つの特徴があります。経済活性化への取り組みが積極的ですが3つの特徴としては、1つは異なる制度間で有機的にリンケージがあるということです。社会保障と税制、産業政策と社会保障など、有機的にリンクさせて効率性、公平性を同時に追求しているところが1番目です。

評価点：

内容は一般的な知識があればつかめるものですが、単語に反応してその羅列で意味のつかめない文が見られました。「アベノミクス」「3本の矢」「金融緩和」などを必死で打っているけれども、この言葉を出して話し手が何を言ったのかが読み取れないということです。パソコンの入力が速くても、意味の伝わらない文章では要約筆記にはなりません。1人で入力するということは、字数ではなく意図がつかめる文章を作る意識が問われるということです。最後のほうで、レジユメの番号を生かせば慌てる必要のない部分もあり、初歩的な技術の習得の違いが出ました。

よろしくお願ひします。田中均です。今日は、世界がどう変動しているか、世界はどうなっていくのか、日本はどういう戦略であるべきかをお話したい。

私は1947年に生まれ、外務省にいた多くは冷戦時代。米ソが大量の核兵器を持ち、一方が核兵器を使うと相手が報復。恐怖の均衡といい、核兵器が紛争を抑止していた。1991年にソ連が崩壊し東西冷戦時代は終わる。次は米国の一極体制時代。世界の軍事費の半分以上アメリカが占め、圧倒的な力で戦争を防いできた。求心力が強かった。1991年に第一次湾岸戦争。前年のイラクのクェート侵入に対し、米国を中心とする連合国がイラクに軍事介入したり、ユーゴ紛争などの対立はあったがアメリカの軍事力で多くの紛争が抑止されてきた。

今は多極化時代。新興国といわれる中国、インド、ブラジルなどの国の力が上がり、差がなくなる状況。2つ理由がある。1つはグローバリゼーション。資本、技術、労働力が国境を超えて世界中に移る。中国が改革開放路線で外国の資本やサービスなどを取り入れ発展。WTOという世界貿易機構に中国が加入した2001年以降、世界に市場を拓き強くなった。グローバリゼーションの結果。

もう1つはアメリカの求心力低下。イラク戦争が大きかった。同時多発テロが2001年の9月。テロを起こすのはかくまう政府がいるからというネオコンの論理が米国の政策の基本になり、アフガニスタン、タリバン、イラン、フセイン政権を打つ行動に出た。早く決着する予測がイラク戦争は8年。戦費として推測によれば6兆ドルくらい使われた。日本の予算の6倍、7倍。これがアメリカの財政問題の根幹にある。財政構造を変えるとか、財政均衡を取り戻さねばという元凶がイラク戦争だった。また、大量破壊兵器があると軍事介入したが、実際にはなかったのも、アメリカの指導力に疑問符が付いた。それがアメリカの力を落とした。

評価点：

冷戦時代や第一次湾岸戦争など、一定程度の知識があれば話の展開は読めたと思いますが、挿入句の多い話し方なので、それに引きずられるとついていけなかったと思います。時系列で話していますが、その途中に出される単語の説明に挿入句が多かったので、話しことばの処理のテクニックが生きたところだったでしょう。

しかし、パソコンの入力に任せて打っていくと前後の脈絡がなくなり、事実関係まで違ってしまいうので正確性に問題が出ました。内容をつかんで1人で入力する基本を身につけてほしいと思いました。